

令和6年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	国際公開臨海実習Ⅳ		
実習内容	<p>基礎的な海洋生物学・生態学を既習した学生を対象に、先進的な内容を課題とした発展的かつ分野統合的な実習を国内外の学生が共同で行う。寒流生態系に特徴的な海洋生物を対象として、群集生態学、生物海洋学、保全生物学など異なる分野にわたる課題に取り組むことにより、海洋生物学・生態学の最先端の知識を身につけると共に、問題解決型の研究課題への取り組み方を習得する。本コースでは北海道東部の海洋生態系、特にアマモ場の生物多様性、生態系機能、生態系サービスに焦点をあてて学習し、それを踏まえて海洋生態系の諸問題の解析方法および解決方法に関する議論を参加者同士で行い、海洋生態系の成り立ちや人間活動の影響に関する課題について理解を深める。（この実習は英語で行う、日本語によるサポートあり）</p> <p>①厚岸湾のアマモ場および海藻藻場の垂直分布の観察とその要因解析、②アマモ場の生物群集と食物網の解析、③アマモ場のモニタリング調査と長期変動の解析、④グループでの課題研究・成果報告</p>		
実習内容キーワード	沿岸生態系、生物群集、生物多様性、寒流域、野外調査解析		
担当教員氏名・所属・役職名	仲岡雅裕・北方生物圏フィールド科学センター・教授 伊佐田智規・北方生物圏フィールド科学センター・准教授 鈴木一平・北方生物圏フィールド科学センター・特任助教		
協力教員氏名・所属・役職名	Hsing-Juh Lin・台湾中興大学・教授		
対象学生・学年	学部3～4年生、 および大学院生	開講期間	8月4日（日）～8日（木） （4日夕方集合、8日午前解散）
開講大学・施設名	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所		
施設の住所	〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠1番地		
電話	0153-52-2056	F a x	0153-52-2042
e-mail	nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp	Web Site	http://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/
交通案内	釧路空港から空港連絡バスで約45分、JR 釧路駅下車。釧路駅から JR で厚岸駅まで約50分、駅からタクシーで臨海実験所まで17分約2,000円。JR 厚岸駅からバス（本数少ない）では15分「国泰寺」下車、実験所まで徒歩25分。札幌（新千歳空港）からは JR で釧路駅まで特急で約4時間、高速バスで約5時間。		
費用	宿泊費と食費3食分、その他雑費を含めて合計約10,000円。		
授業科目名	特別実習（国際公開臨海コースⅣ）		
単位数	1	定員数	8
授業料の徴収について	国立大学および協定のある公立私立大学の学生は所定の書式による申請により授業料は不徴収とする。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を超えた場合は書類選考を行う。申込〆切は実習開始日の2か月前。定員に満たない場合は追加募集を行う（実習開始日の1か月前まで）。また、定員に余裕がある場合は、学部1、2年生の受講も受け付ける。		
選抜結果連絡法	本人に郵送（連絡可能者はE-mail）で仮通知。後に理学部から正式通知を郵送。		